制活新聞

第４号
平成２４年２月１９日（日）
制活
発行　制活編集支援室
http://www.smt.jp/thinkingtable/

万能実験で「デンプンのり」世界遺産（イオン）に認定!!!

Dr.よしぴろ財布置き忘れ

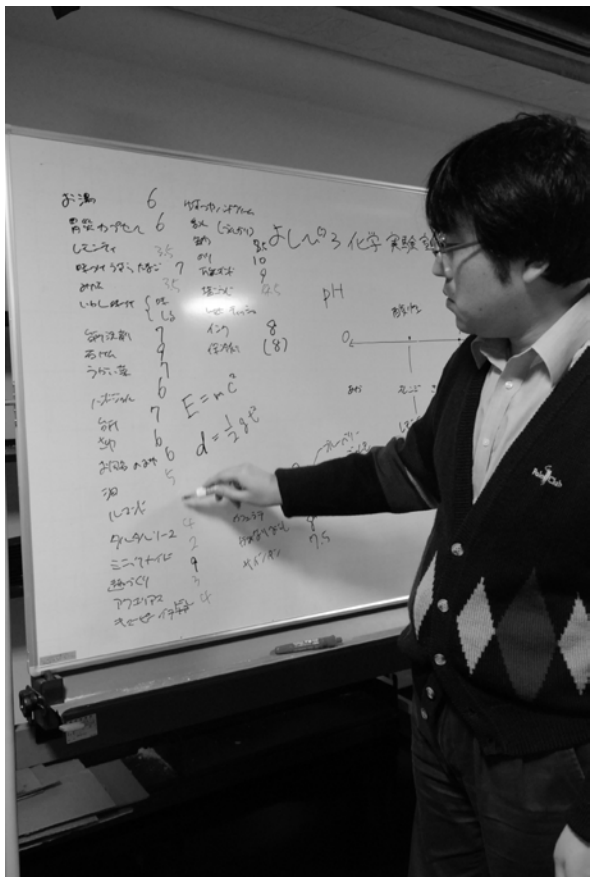
今回、私Dr.よしぴろは、実験用品を購入するためのクレジットカードを国鉄（現・JR）仙山線の電車内に置き忘れる困難に見舞われた。まるで、フランス革命当時、化学者ラボアジェが晩年処刑されたエピソードを想起させる光景であった。社会的困難により自然科学の探求が頓挫することはよくあることであるが、「万能実験」の名前に対し、早くも名前負け感が漂う。

しかし、迅速なカード再発行のおかげで、実験用資金約1，000円（エクアドル通貨にして325，000スクレ相当）を捻出し、「万能試験紙」をアマゾンにて購入することができた。今回の実験も、仙台市科学館という施設があることはさておき、メディアテークの地下密室内で行っている。

G8とAKB夢のコラボ

実験者は我々、化学実験８人衆（kaGakujikken8、以下G8と略）、被験者は「ある意味化学物質の４８品目」（以下、AKB４８と略）である。AKB４８メンバーは、前回の節電実験で鮮やかな音を奏でたレモンティをはじめ、胃薬や、うがい薬に、ミニッツメイドや井戸水、のりやサインペンに、パスタといったドラッグストアなみの豊富な品揃えである。

液体のメンバーに対しては直接、固体のメンバーは、水適量で溶かし、試験紙を浸した。どうやらこの「万能試験紙」は、溶液に浸した試験紙の色変化よって酸性か塩基（アルカリ）性かだけを見分けるものらしく、有害物質や放射線の測定はできないものであった。精進を期待したい。黄色い試験紙がオレンジや赤く変化するほど酸性、反対に緑や青になるほど塩基性という、シンプルで電気いらずの画期的システムである。



いざ出陣！

時は２０１１年末、AKB４８の四十七士の威信をかけた討ち入りがはじまった。（手違いにより1名ブッキングミスがあったことをお詫びいたします。）

緊張に翻弄されるメンバーたち

メンバーの多数は、普段と違う環境での緊張に苦労した様子で、試験紙になかなか自らの痕跡を刻めない中、自分色を出し、G８をうならせたメンバーを紹介する。

酸性のオレンジ組

一字のごとく、酸っぱいものは、やはり大概酸性で、きれいなオレンジ色を示した。タルタルソースやイタリアンドレッシング、みかん、ミニッツメイド（グレープフルーツ）である。

特に、ミニッツメイドに至っては、ほぼ赤色を示した。また、レモンティは、自らの見た目と結果を一致させ、前回の通電実験から２打席連続のヒット。私見だが、「AKB４８のセンターは、前田敦子や篠田麻里子よりもレモンティである」と声をミュートにして言おう。

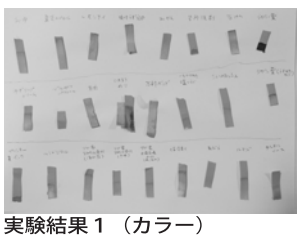
麺類、文房具は塩基性

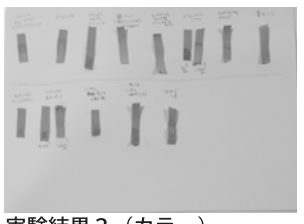
試験紙が緑色を示したものは、塩基（アルカリ）性である。アルカリは、アラビア語で灰が語源。灰の水溶液は、当時手を洗う用途に使用された経緯から、石鹸が塩基性となったのは、予想通りであった。

しかし、他には、スパゲッティや「麺づくり」（カップめん）の麺類、サインペンやマジックインク、万能ボンド、デンプンのりの文房具勢が顔を連ねる。特に、デンプンのりは、もはや緑を通り越し、青に迫る勢いであった。G８はここに栄誉をたたえ、世界遺産に認定したい。

うがい薬、ドーピングで失格

うがい薬も鮮やかな青色を見せたが、G８の「単にうがい薬の色素が強いだけ」との声で、ドーピングとなり失格。いわし味付けや、ブルーベリージャムも同様となった。また、胃薬は薬品である自覚が足らず、試験紙を変化させることができなかった。


実験結果１（カラー）


実験結果２（カラー）
十数名は学業優先のため欠席

コストは結果に比例せず

「麺づくり」はドンキで５０円の破格だった上、鮮やかな緑を示した一方、ブルガリの香水に反応は見られなかった。

（よしぴろ）

マイナー調味料録

知っている人は知っている、ちょっとマイナー調味料をご紹介。今回はベトナムのヌクマム！所謂魚醤です。タイだとナンプラー、秋田にもしょっつるが仲間ですね。ベトナムでは日本の醤油以上の国民調味料で、ご飯にかければそれだけでご馳走だとか？！お浸しに使っても美味だけど、発酵独特の芳しい香りが苦手な人もいるかと。ただ、この香りは火を通すと気にならない。ヌクマムは鰹節と同じ旨味成分なので、日本人ならば絶対好きな味！味噌汁等スープに、それにカレーにと隠し味として使えば味が深まるのですが、先ずはダイレクトに旨味を体験できる青菜の炒めものを作ってみましょう。夏に空芯菜を使えば本場さながらですが、青菜は何でもOK。小松菜やチンゲン菜ならばクセがないでしょうか。

①青菜１００gはザク切る。ニンニク一片をスライスする。

②フライパンを十分に熱し、油小匙1↓塩一つまみ↓ニンニク↓青菜の順で炒める。強火ですよ終始。

③青菜がしんなりしたら、ヌクマム大匙半分で味付け。出来上がり！

ご飯が進む～！マイナー調味料はお料理の幅が広がるよ。新しい美味を体験して下さいな。

（Kai）

あけましておめでとうございます、なんて言うのには年が明けて少々時間が経ってしまったかもしれませんが、２０１２年を迎えての最初の制活新聞だったりしますので、どうぞ皆様今年もよろしくお願いします。

昨年の話を少し。秋くらいに参加した展覧会に、数年前に制作した作品を出品してみたりしました。わりと毎回、場所に応じた作品を作ることが多いのですが、なんだか旧作をもう一度自分も含めて観ていたいなあ、と思いました。「家」をモチーフにした作品で、当時、約十年間の東京での一人暮らしから、水戸での実家暮らしに生活を移した頃に制作したものでした。よく言われることですが、日本語の「家」という言葉って、物理的な建物としての家だったり、制度としての家だったり、家族とか住み慣れた街の総称のようなものだったり、目を凝らしてみるといくつかの意味合いが混じり合ったままに僕たちは捉えてたりします。久しぶりに帰る実家は、たしかに家族はいるし、住み慣れた家だし、よく知ってる街なはずなのになんだか他人行儀で違和感があるのが正直なところ。一方、十年くらい住んでた東京のはずれにある街は、友人もちらほら、身体に妙にしっくりきてる場所なわけだけど、そこに住む家はない。どこにも落ち着けない気分のまま、家ってなんだろってもんもんと考えながら制作してたりしました。それから数年経ってみて、昨年の三月以降、家自体もあちこちヒビが入ってたりもするけど、それよりも家族という単位をより実感する機会が増えたり、そんなに愛着があるつもりもなかったのに自分の街を意外と大事にしてるのに気付いたり、そのときに浮かぶのが風景とかよりも具体的な人であったり、漠然とはしてるけど、「家」についてもう一回り考える機会になりました。数年前に発した言葉が、改めて聞くと違う意味を帯びて聞こえることがあるように、同じ作品から少し違った表情を読み取れるんじゃないかな、なんて思ったわけです。作品自体は当然変わらないわけなんだけど、それを観る自分自身の変化を作品を通して感じたり。鏡のようなそういう瞬間の体験、たまにあったりしませんか？本だったり、映画だったり、写真だったり。何気ない振り返りに気付かされたりすることが多い今日この頃だったりします。

（中崎）

考えるテーブル
人が集い語り合いながら
震災復興や地域社会、
表現活動について考えていく場
http://www.smt.jp/thinkingtable/

3がつ11にちをわすれないためにセンター
発信はさまざまな支援活動を応援し、
記録は未来への財産となるように。
http://recorder311.smt.jp/　@recorder311
メディアテークの2階から7階に引っ越しました

3月17日（土）創作実験アトリエ
たかはしよしぴろパフォーマンスあり！
メディアテークにて！！
「Dr.よしぴろ化学実験室」「4コマ」でおなじみ

制活ラジオ 公開配信します!!
高田 彩（birdoflugas 代表）× 笹尾千草（ココラボラトリー代表）
耳ラジオ版
今回、お話を聞かせていただくのは、東北で活躍中のギャラリストのお二人。昨年、山形で開催された音楽フェスでのお二人のレクチャーを軸に、震災後の活動について、そして、これからのことをおうかがいしたいと思います。聞き手：アベカエ、中崎透
日時：2012年2月25日（土）17時から18時
会場：せんだいメディアテーク７階 プロジェクトルーム
申込不要・観覧無料（15席程度）
http://www.ustream.tv/user/seikatsu_smt